

臨床心理学専攻

再生紙を使用しています。

対象課程		科目名		単位	科目コード	開講時期	授業科目区分		
修士課程		臨床心理基礎実習 Basic Training for Clinical Practice		2	8925-01	通年	関係科目		
担当教員名		研究室	内線電話番号	電子メールID			オフィスアワー		
キーワード		授業科目の学習目標							
1	カウンセラーの基本的態度	クライアントを理解し、共感するための基本的な態度と技能を実習を通して受講生が習得することを目標としている。心理臨床家として相手を観察し、理解し、共感するための基本的なコミュニケーション技能を習得するには、実習形式の体験学習をできる限り多く行い、逐語録の作成や、事例検討会への資料作成といった事柄が含まれる。このような体験を通じて臨床心理士としての基本姿勢や、態度を習得してもらうことを目指している。							
2	カウンセラーの応答分類								
3	クライアントへの共感								
4	クライアントへの応答								
5	クライアントへの説明								
授業の概要および学習上の助言									
<p>臨床心理士として習得しておくべき基本的なコミュニケーション技法を中心に実習を行う。</p> <p>具体的には、マイクロカウンセリング等の教育方法を用いた、カウンセラーとしての基本的なコミュニケーション技法の習得や、役割演技を用いた擬似カウンセリング状況を経験する。</p> <p>演習を通して学習することが主であるが、演習への参加だけでなく、逐語録の作成、事例検討会への提供事例の資料作成、教員からのスーパービジョン等が含まれ、相当な時間を費やすことになる。したがって、受講生はこれらの課題に取り組むに当たり、計画的な時間配分を行い、日々の自己管理に留意する必要がある。</p>									
教科書および参考書									
教科書：教員の作成したハンドアウト									
参考書：マイクロカウンセリング アレン・E・アイビー(著) 川島書店									
マイクロカウンセリングの理論と実際 福原 真知子他(著) 風間書房									
臨床面接のすすめ方 初心者のための13章 M.ハーセン・V.B.ヴァンハッセル(編) 日本評論社									
履修に必要な予備知識や技能、および一般的注意									
心理学関係学部における臨床心理学、特に、カウンセリング心理学の知識が必要である。また、この基礎実習の基本的な態度は人間性心理学的なアプローチを採用しているため、この学派、特にロジャーズのカウンセラーの基本的な態度について学習しておくことが望ましい。									
学生が達成すべき行動目標									
自分自身の応答の際の言語的、非言語的な特徴を知り、クライアントを観察することができる									
カウンセラーの応答分類を行うことができる									
クライアントが話しやすい応答をすることができる									
クライアントの感情に気づき、それを言語化することができる									
クライアントを理解するための応答ができる									
クライアントにカウンセリングの外枠(料金、時間等)を適切に説明することができる									
達成度評価方法(総合評価割合)									
	試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
配点	0	0	40	40	0	0	20	100	

授 業 計 画

第1週から第10週

演習を多用し、カウンセラーとしての基本的な態度およびコミュニケーション技法の訓練を行う。
マイクロカウンセリング理論を中心としたカウンセラーの応答態度に関わる講義を行う。また、毎週異なった技法に関して、受講者相互の役割演技等の演習、および、役割演技の録画記録を題材にしたカンファレンス(注1)を行う。演習結果は、逐語録として提出させる。

- 第1週：マイクロカウンセリング理論、非言語的特徴
- 第2週：最小限の励まし、言い換え技法
- 第3週：質問技法
- 第4週：総合練習1
- 第5週：感情の反映技法
- 第6週：積極技法1(情報提供技法、場面構成技法)
- 第7週：積極技法2(対決技法、自己開示技法、解釈技法)
- 第8週：総合練習2
- 第9週：総合練習3
- 第10週：まとめ

第11週から第30週

学生を対象にした模擬カウンセリング(注2)を行う。
カウンセリング対象者は、大学院生における模擬カウンセリングにボランティアで参加を希望した学生である。
1回30-50分で1回から3回までの期間で受講生による模擬カウンセリングを実施する。
それらの記録をもとに、教員が1回ごとにスーパーバイズを行う。

- (注1) 金沢工業大学臨床心理センター内の面接室におけるビデオシステムを利用し、カウンセラー役の実習学生の表情、姿勢、口調、応答の内容およびタイミングを検討する。
- (注2) 金沢工業大学カウンセリングセンターにおいて実習する。1回ごとの教員によるスーパーバイズだけでなく、臨床心理センターの相談員全員によるグループスーパービジョンが義務付けられる。

この他に、臨床心理センターで実施されている事例検討会への参加も含まれる。

達成レベルの目安

理想的な達成レベルの目安	標準的な達成レベルの目安
カウンセラーとしての基本的な態度とコミュニケーション技能が十分に習得できている。軽微な心理学的な悩みに対して、傾聴を主体としたかわりを行うことができる。	カウンセラーとしての基本的な態度とコミュニケーション技能を、充分とは言えないが、今後、実践に耐えうるレベルで習得していける可能性がある。